

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3224736号
(U3224736)

(45) 発行日 令和2年1月16日 (2020.1.16)

(24) 登録日 令和1年12月18日 (2019.12.18)

(51) Int.Cl.

F 1

F 2 1 L 2/00 (2006.01)

F 2 1 L 2/00 1 3 0

評価書の請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号	実願2019-4120 (U2019-4120)	(73) 実用新案権者	514195632
(22) 出願日	令和1年10月30日 (2019.10.30)		東莞嘉盛照明科技有限公司
			中国広東省東莞市虎門鎮樹田村 (番地無し)
		(74) 代理人	100087918
			弁理士 久保田 耕平
		(72) 考案者	徐水盛
			台湾台中市寧夏路195號11樓

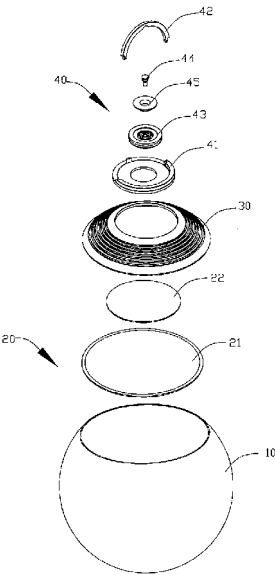
(54) 【考案の名称】 移動可能な照明器具

(57) 【要約】

【課題】 従来技術の問題を改善する移動可能な照明器具を提供する。

【解決手段】 移動可能な照明器具は、照明カバー10、照明部20、充電装置、ベース30及び接続部材40を備える。照明カバー10は、内方に延びた収容溝を有する。照明部20は、充電装置と電気的に接続される。ベース30は、収容溝の溝口上を覆うとともに、照明カバー10に接続される。照明部20は、ベース30と照明カバー10との間に装着される。ベース30上には、穿孔が形成される。接続部材40は、接続部41、吊下げ部42、係合部43、プッシュバー44及び磁石45を含む。接続部材40は、穿孔内に係合される。吊下げ部42は、接続部41上に装着され、接続部41上で旋回可能である。接続部41の中央部には、装着孔が形成され、係合部43は、装着孔内に係合される。磁石45及びプッシュバー44は、係合部43上に係合される。

【選択図】 図3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

照明カバー、照明部、充電装置、ベース及び接続部材を備えた移動可能な照明器具であって、

前記照明カバーは、内方に延びた収容溝を有し、

前記照明部は、前記充電装置と電氣的に接続され、

前記ベースは、前記収容溝の溝口上を覆うとともに、前記照明カバーに接続され、

前記照明部は、前記ベースと前記照明カバーとの間に装着され、

前記ベース上には、穿孔が形成され、前記接続部材は、接続部、吊下げ部、係合部、プッシュバー及び磁石を含み、

前記接続部材は、前記穿孔内に係合され、

前記吊下げ部は、前記接続部上に装着され、前記接続部上で旋回可能であり、

前記接続部の中央部には、装着孔が形成され、前記係合部は、前記装着孔内に係合され、

前記磁石及び前記プッシュバーは、前記係合部上に係合されることを特徴とする移動可能な照明器具。

【請求項 2】

前記係合部の外側面には、係合溝が形成され、

前記係合部は、前記係合溝内に前記接続部が係入され、前記接続部上に取り付けられることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 3】

前記係合部の底部には、前記係合溝の方向を向くリード構造を呈する係合端が設けられることを特徴とする請求項 2 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 4】

前記磁石は階段状構造を呈し、

前記係合部上には、第 1 の環状溝が形成され、

前記第 1 の環状溝内には、第 2 の環状溝が形成され、

前記磁石は、前記第 1 の環状溝中に装着されて前記第 2 の環状溝内に至るように延びることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 5】

前記第 2 の環状溝の溝壁上には、複数のリブが設けられることを特徴とする請求項 4 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 6】

前記係合部の中央部には、接続孔が形成され、

前記接続孔の内孔壁上には、環状突起が設けられ、

前記プッシュバー上には、接続溝が形成され、

前記プッシュバーは、前記接続溝内に突起が係入され、前記係合部上に取り付けられることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 7】

前記プッシュバー上には、前記接続溝の方向を向くリード構造を呈する接続端が設けられることを特徴とする請求項 6 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 8】

前記係合部はシリコーンゲルからなることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 9】

前記吊下げ部は、上方に延びた装着溝を有し、

前記吊下げ部上には、凹溝が設けられ、

前記接続部上には、パンプが設けられ、

前記パンプは、前記凹溝に一致し、

前記吊下げ部が前記接続部上まで旋回されると、前記パンプが前記凹溝内に係入されることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

【請求項 10】

前記照明部は、拡散板、制御板及び複数の発光体を含み、
前記発光体は、前記制御板上に取り付けられ、
前記拡散板は、前記制御板から離れた前記発光体の一侧に取り付けられることを特徴とする請求項 1 に記載の移動可能な照明器具。

10

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、日用品に関するものであり、さらに詳しくは、移動可能な照明器具に関するものである。

20

【背景技術】**【0002】**

社会の進歩に伴い、人々のニーズも高まり、周囲にある日常の生活において使用する日用品も常に改良し続けており、同様に、照明器具のような生活必需品も徐々に改良し続け、また、照明器具の種類も増加している。そのような状況に伴い、かかる照明器具の機能も徐々に改善されている。

【0003】

しかし、従来の照明器具は天井に吊下げるか、その他固定領域に設置することが一般的であったため、取り扱い上、非常に不便であった。そのため、移動可能な照明器具を天井に吊下げ、その他固定領域に設置して使用せざるを得なかったことから、さらなる改良が切望されてきた。

30

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

従って、本考案の主な課題は、従来技術の問題を改善する移動可能な照明器具を提供することにある。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

そこで、本考案者は、前記の本考案の課題を解決するため鋭意検討を重ねた結果、後述の如く、少なくとも、照明部、充電装置、ベース及び接続部材をそれぞれ特定されることにより、前記課題を解決できることに着目し、本考案に想到するに至った。

40

【0006】

かくして、本考案の要旨は、次の(1)～(10)に記載の通りのものである。

(1) 照明カバー、照明部、充電装置、ベース及び接続部材を備えた移動可能な照明器具であって、前記照明カバーは、内方に延びた収容溝を有し、前記照明部は、前記充電装置と電気的に接続され、前記ベースは、前記収容溝の溝口上を覆うとともに、前記照明カバーに接続され、前記照明部は、前記ベースと前記照明カバーとの間に装着され、前記ベース上には、穿孔が形成され、前記接続部材は、接続部、吊下げ部、係合部、プッシュバー及び磁石を含み、前記接続部材は、前記穿孔内に係合され、前記吊下げ部は、前記接続部

50

上に装着され、前記接続部上で旋回可能であり、前記接続部の中央部には、装着孔が形成され、前記係合部は、前記装着孔内に係合され、前記磁石及び前記プッシュバーは、前記係合部上に係合されることを特徴とする移動可能な照明器具。

【0007】

(2) 前記係合部の外側面には、係合溝が形成され、前記係合部は、前記係合溝内に前記接続部が係入され、前記接続部上に取り付けられることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

【0008】

(3) 前記係合部の底部には、前記係合溝の方向を向くリード構造を呈する係合端が設けられることを特徴とする前記(2)に記載の移動可能な照明器具。

10

【0009】

(4) 前記磁石は階段状構造を呈し、前記係合部上には、第1の環状溝が形成され、前記第1の環状溝内には、第2の環状溝が形成され、前記磁石は、前記第1の環状溝中に装着されて前記第2の環状溝内に至るように延びることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

【0010】

(5) 前記第2の環状溝の溝壁上には、複数のリブが設けられることを特徴とする前記(4)に記載の移動可能な照明器具。

【0011】

(6) 前記係合部の中央部には、接続孔が形成され、前記接続孔の内孔壁上には、環状突起が設けられ、前記プッシュバー上には、接続溝が形成され、前記プッシュバーは、前記接続溝内に突起が係入され、前記係合部上に取り付けられることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

20

【0012】

(7) 前記プッシュバー上には、前記接続溝の方向を向くリード構造を呈する接続端が設けられることを特徴とする前記(6)に記載の移動可能な照明器具。

【0013】

(8) 前記係合部はシリコンゲルからなることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

【0014】

(9) 前記吊下げ部は、上方に延びた装着溝を有し、前記吊下げ部上には、凹溝が設けられ、前記接続部上には、バンプが設けられ、前記バンプは、前記凹溝に一致し、前記吊下げ部が前記接続部上まで旋回されると、前記バンプが前記凹溝内に係入されることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

30

【0015】

(10) 前記照明部は、拡散板、制御板及び複数の発光体を含み、前記発光体は、前記制御板上に取り付けられ、前記拡散板は、前記制御板から離れた前記発光体の一侧に取り付けられることを特徴とする前記(1)に記載の移動可能な照明器具。

【考案の効果】

【0016】

本考案の移動可能な照明器具は、照明部及び接続部材から構成され、上述した接続部材は、接続部、吊下げ部、係合部、プッシュバー及び磁石を含み、上述した吊下げ部は、接続部上に取り付けられ、接続部上で旋回可能であり、上述した接続部の中央部には、装着孔が形成され、上述した係合部は、上述した装着孔に係合され、上述した磁石及びプッシュバーは、係合部上に係合され、本考案の移動可能な照明器具は、接続部に対して垂直になるまで吊下げ部を旋回させると、天井に吊下げることができ、吊下げ部を旋回させて接続部に近づけると、上述した移動可能な照明器具を固定場所に置いて使用することができる。

40

【図面の簡単な説明】

【0017】

50

【図 1】図 1 は、本考案の一実施形態に係る移動可能な照明器具を示す説明図である。

【図 2】図 2 は、図 1 の移動可能な照明器具を置いたときの状態を示す説明図である。

【図 3】図 3 は、図 1 の移動可能な照明器具を置いたときの状態を示す分解斜視図である。

【図 4】図 4 は、図 3 の係合部を示す斜視図である。

【図 5】図 5 は、図 3 のプッシュバーを示す拡大斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0018】

以下、図面を用いて本考案を具体的に説明する。もっとも本考案は、かかる図面等により限定されるものではない。

10

図 1～図 3 を参照する。図 1～図 3 に示すように、本考案の一実施形態に係る移動可能な照明器具は、天井に吊下げるか、または、その他固定領域に置いて使用することができる。上述した移動可能な照明器具は、照明カバー 10、照明部 20、充電装置（図示せず）、ベース 30 及び接続部材 40 を含む。上述した照明カバー 10 は、内方に延びた収容溝（図示せず）を有する。上述した照明部 20 は、充電装置と電氣的に接続され、充電装置により照明部 20 に電気が供給されるため、電源に接続されていない状況下でも照明機能が得られる。上述したベース 30 は、収容溝の溝口上を覆うとともに、照明カバー 10 に接続される。上述した照明部 20 は、ベース 30 と照明カバー 10 との間に装着される。上述したベース 30 上には穿孔（図示せず）が形成される。上述した接続部材 40 は、接続部 41、吊下げ部 42、係合部 43、プッシュバー 44 及び磁石 45 を含む。上述した接続部材 40 は、上述した穿孔内に係合される。上述した吊下げ部 42 は、接続部 41 上に装着され、接続部 41 上で旋回可能である。上述した接続部 41 の中央部には、装着孔（図示せず）が形成される。上述した係合部 43 は、上述した装着孔内に係合される。上述した磁石 45 及びプッシュバー 44 は、係合部 43 上に係合される。本考案の移動可能な照明器具は、接続部 41 に対して垂直になるまで吊下げ部 42 を旋回させると、天井に吊下げることができ、吊下げ部 42 を旋回させて接続部 41 に近づけて固定場所に置くこともできる。

20

【0019】

上述した係合部 43 の外側面には、係合溝 431 が形成される。上述した係合部 43 は、接続部 41 を介して係合溝 431 内に係入され、接続部 41 上に取り付けられる。上述した係合部 43 の底部には、係合溝 431 の方向を向くリード構造を呈する係合端 432 が設けられ、係合溝 431 内に接続部 41 を係入させることができる。

30

【0020】

上述した磁石は階段状構造を呈する。上述した係合部 43 上には、第 1 の環状溝 433 が形成される。上述した第 1 の環状溝 433 内には、第 2 の環状溝 434 が形成される。上述した磁石は、第 1 の環状溝 433 中に装着されて第 2 の環状溝 434 内に至るように延びる。上述した第 2 の環状溝 434 の溝壁上には、複数のリブ（図示せず）が設けられる。上述したリブは、磁石を第 1 の環状溝 433 及び第 2 の環状溝 434 内に確実に係合させることができる。

【0021】

上述した係合部 43 の中央部には、接続孔 435 が形成される。上述した接続孔 435 の内孔壁上には、環状突起（図示せず）が設けられる。上述したプッシュバー 44 上には、接続溝 441 が形成される。上述したプッシュバー 44 は、接続溝 441 内に突起が係入され、係合部 43 上に取り付けられる。上述したプッシュバー 44 上には、接続溝 441 方向を向くリード構造を呈する接続端 442 が設けられ、接続溝 441 内に突起を係入させることができる。

40

【0022】

上述した係合部 43 はシリコンゲルからなり、磁石及びプッシュバーを上述した係合部 43 内に係入させることができる。

【0023】

50

上述した吊下げ部 4 2 は、上方に延びた装着溝（図示せず）を有する。上述した吊下げ部 4 2 上には、移動可能な照明器具を確実に天井に吊下げることができるように、凹溝 4 2 1 が設けられている。上述した接続部 4 1 上には、バンプ（図示せず）が設けられる。上述したバンプは、凹溝 4 2 1 に一致する。上述した吊下げ部 4 2 が接続部 4 1 上まで旋回されると、上述したバンプが凹溝 4 2 1 内に係入される。

【0024】

上述した照明部 2 0 は、拡散板 2 1、制御板 2 2 及び複数の発光体（図示せず）を含む。上述した発光体は、制御板 2 2 上に取り付けられる。上述した拡散板 2 1 は、制御板 2 2 から離れた発光体の一側に取り付けられ、発光体の光線を拡散させ、光線の照射範囲を広げることができる。

10

【0025】

上述したことから分かるように、本考案の移動可能な照明器具は、照明部 2 0 及び接続部材 4 0 から構成される。上述した接続部材 4 0 は、接続部 4 1、吊下げ部 4 2、係合部 4 3、プッシュバー 4 4 及び磁石 4 5 を含む。上述した吊下げ部 4 2 は、接続部 4 1 上に取り付けられ、接続部 4 1 上で旋回可能である。上述した接続部 4 1 の中央部には、装着孔が形成される。上述した係合部 4 3 は、上述した装着孔に係合される。上述した磁石 4 5 及びプッシュバー 4 4 は、係合部 4 3 上に係合される。本考案の移動可能な照明器具は、接続部 4 1 に対して垂直になるまで吊下げ部 4 2 を旋回させると、天井に吊下げることができ、吊下げ部 4 2 を旋回させて接続部 4 1 に近づけると、上述した移動可能な照明器具を固定場所に置いて使用することができる。

20

【0026】

以上、本考案の好適な実施形態を前述の通り開示したが、これらの説明により、決して本考案を限定するものではない。本考案の主旨と領域を逸脱しない範囲内で各種の変更や修正を加えることができる。従って、本考案の実用新案登録請求の範囲は、このような変更や修正を含めて広く解釈されるべきである。

【符号の説明】

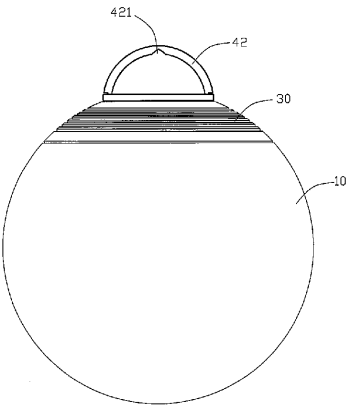
【0027】

- 1 0 照明カバー
- 2 0 照明部
- 2 1 拡散板
- 2 2 制御板
- 3 0 ベース
- 4 0 接続部材
- 4 1 接続部
- 4 2 吊下げ部
- 4 3 係合部
- 4 4 プッシュバー
- 4 5 磁石
- 4 2 1 凹溝
- 4 3 1 係合溝
- 4 3 2 係合端
- 4 3 3 第 1 の環状溝
- 4 3 4 第 2 の環状溝
- 4 3 5 接続孔
- 4 4 1 接続溝
- 4 4 2 接続端

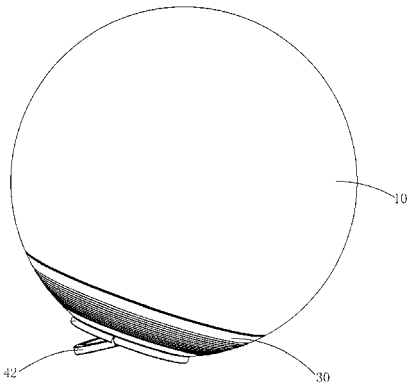
30

40

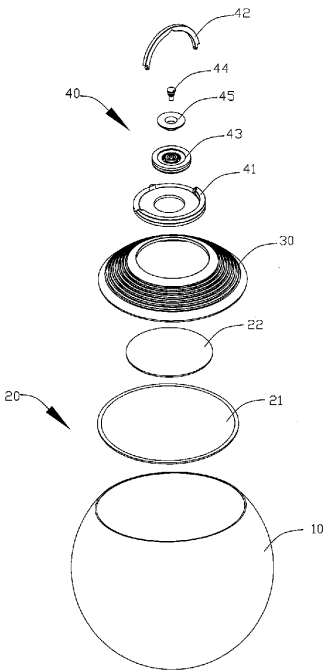
【図 1】



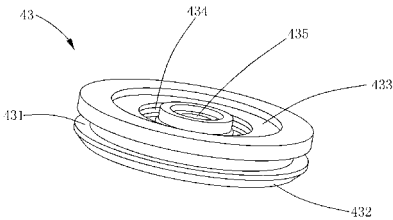
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

